

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
令和2年(2020)年度
定期総会議案書

目 次

定期総会について	i
島臨技表彰	ii
議案	
令和元年度経過報告	1
令和元年度決算報告	5
会計監査報告	8
役員を選任	9
その他	
活動報告	10
令和2年度予算	32
表彰	33
会員状況	33
賛助会員	36



一般社団法人

島根県臨床検査技師会

令和 2 年 5 月 22 日

会 員 各 位

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
会 長 三 島 清 司

令和 2 年度 定期総会について

この度の新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、6月に予定しておりました定時総会につきましては、一堂に会する事を避け、書面によって各議案を承認していただく事に理事会で決定しました。このほど正会員全員の同意を頂きましたので、定款 17 条 1 項に基づき総会招集手続きを省略し、同 21 条 3 項により、総会議案書に対する正会員各位のご承諾を求める次第です。

総会決議の効力発生日を 6 月 22 日としておりますので、同封の「議決権行使書」に署名押印のうえ、6 月 21 日までに到着するよう、同書をご返送下さいますようお願い申し上げます。

1. 議 事

- 1) 第 1 号議案 令和元年度経過報告
 - (1) 総 括
 - (2) 総務部
 - (3) 企画部
 - (4) 学術部
 - (5) 経理部
 - (6) 西部地区
 - (7) 支部学会報告
- 2) 第 2 号議案 令和元年度決算報告
- 3) 第 3 号議案 会計監査報告
- 4) 第 4 号議案 役員の選任

2. 報告事項

- 1) 令和 2 年度予算

表 彰

(敬称略)

一般社団法人島根県臨床検査技師会 永年職務精励者

氏 名	施設名
青戸 正樹	松江赤十字病院
長谷川 朋子	平成記念病院
浜村 寛	出雲市民病院
大井 幸子	益田赤十字病院
藤野 利恵	隠岐病院
本田 真弓	西川病院
高木 繁	島根県環境保健公社
川島 こずえ	海星病院
福田 佳枝	島根県環境保健公社

順不同

総括

新型コロナウイルス感染拡大を受け、政府は人と人の接触を最小限に抑え、感染拡大を防ぎ、感染者の増加や医療崩壊を防ぐ目的で令和2年4月7日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県を対象に「緊急事態宣言」を発令した。さらに4月16日にはこれを全国に拡大した。緊急事態宣言に伴う総理大臣の記者会見の中で、医師らと並んで現場で奮闘する臨床検査技師に感謝と敬意を示されたことで、その仕事ぶりに注目が集まることとなった。こうした誰もが経験したことのない状況下においても会員の皆様には医療現場の一線において検査業務に従事されていることに対し敬意を表する。

さて、日臨技では定款改正により来年度より理事定数が増え、各県より1名の理事を選出することとなっている。本会では日臨技や他の多くの都道府県技師会と役員任期を揃えるため、全役員が任期途中の12月2日付で辞任届を提出し、役員改選手続きを進め、次年度より新たな体制でスタートすることとした。今回の総会は役員改選を審議する重要な総会であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与するため、書面による決議としたことに会員の皆様のご理解をお願いしたい。

11月2日・3日には日臨技中四国支部医学検査学会を島根県民会館を中心に本県担当により開催した。学会テーマ「検査の力」、サブテーマ「臨床検査の可能性を求めて」の下に会員・賛助会員・学生などを含め総勢約1200名の参加を得て、活発な討議が繰り広げられた。我々臨床検査技師を取り巻く状況には厳しいものがあるが、本学会を通じて臨床検査技師の未来は決して暗いものではなく、活躍のチャンスは大いにあることを理解いただけたと思う。現状に安住せずチャンスを逃さずチャレンジする姿勢こそ今我々に一番求められていることであると改めて感じた2日間であった。会員・賛助会員の皆様のご協力に感謝申し上げるとともに、本学会の企画・運営に協力いただいた関係各位に心よりお礼を申し上げます。

このように令和元年度は学会開催が活動の中心であったが、学術や西部支部、公益活動等についても厳しいスケジュールの中で可能な範囲で事業が展開できた。

また、次年度予定されているALP・LDのIFCC法への変更については本会より島根県医師会へ情報提供し、医師会員の先生方への周知を依頼した。今後も臨床検査のプロ集団として関係機関への積極的な情報提供と連携を深めていきたい。

現状では対面での研修会再開がいつになるか不透明であるが、これからも島臨技HPやメール等を活用し、タイムリーな情報提供に努めていきたい。また、会員の皆様からは島臨技に対する忌憚ないご意見をお寄せいただきたい。

全ての会員、賛助会員の皆様の島臨技活動への一層のご理解とご協力をお願いする次第である。

総務部

平成から令和に替わった今年度最初の事業として、前年度から準備を進めていた「ベッドサイド講習会」を5月26日、6月16日の2日にわたり、松江赤十字病院を会場に同病院の青山技師と共に企画開催した。

また、6月2日（日）に島根大学医学部附属病院ゼブラ棟だんだんにて今年度の定期総会を開

催し、「平成 30 年度経過報告」「同決算報告」について審議し、承認された。

そして 9 年に 1 度の大事業である「中四国支部医学検査学会」を 11 月 3、4 日に島根県民会館をメイン会場にして開催し、総務部としても準備、企画に関して業務を遂行することができた。

年明けの 1 月 18 日には「施設代表者会」をビックハート出雲で行い「検査室以外での検査の管理や病棟業務について」と題して 32 名の各施設の代表者を集めて行った。引き続き「島臨技新年賀会」を武志山荘で開催し、多くの会員、賛助会員の皆様に参加していただいた。

広報としては島臨技ニュースを No156～159 まで 4 回発行した。第 7 回島根県医学検査学会報告、平成 30 年度精度管理報告会の感想、各種研修会の広告、島臨技交流会の開催報告、第 52 回中四国支部医学検査学会に関わる特集号、新年賀会の様子、検査と健康展の開催報告などが主な内容であった。

企画部

4 月 7 日（土）、イオンモール出雲（1F もめんコート）で行われた子宮頸がん予防・検診啓発活動（LOVE49）に共催として参加した。当日参加スタッフ総数 36 名（細胞検査士 23 名、臨床検査技師 3 名、島根県立大学教員 1 名、島根県立大学学生 9 名）。今回はパネル展示の中身を理解して頂くためにクイズラリーを行い、172 名の参加があった。その他に子宮頸がんに関するアンケートやパンフレットの配布で、がんの正しい知識や子宮頸がん健診の必要性を訴えた。バルーンアートやマリンバ・ピアノ演奏も集客に一役買っていた。

12 月 7 日（土）、令和元年度「検査と健康展」をイオン松江ショッピングセンター（1F 吹き抜け広場）で開催した。要員総数 24 名（常時 19 名）、医師 2 名で対応した。6 項目の検査を行い、前年度同様に医師による無料相談コーナーも設置した。来場者数は 175 名、検査件数は骨密度 133 名、肺機能 113 名、血管年齢 170 名、ストレス度チェック 61 名、脳年齢 50 名、血圧は来場者のほぼ全員に検査をした。脳年齢は大人気だったが、一人にかかる時間が長い為常に行列ができており、受付番号 155 で終了した。認知症のパネルを興味深く読んでいる来場者も多く、ご自身の脳について興味を持つ人がとても多いとわかった。来場者の中に 4 年前の「検査と健康展」で骨密度検査を受けて異常がわかり「医師による相談コーナーでも注意を受けたのを機に病院で治療されて良くなった。」と言われた方があり、「検査と健康展」が役に立っていると痛感した。

検査室の中だけで、ルーチン業務をしている検査技師にとっては、外へ出向いて検査することや、他院の検査技師と関わりが持てたことは、今後の技師会活動に役立つと思われた。その他、パンフレット（300 部）もスムーズに配れ、クレームやアクシデントも無く終了することができた。

昨年に引き続き、今年も、「臨床検査技師」をアピールできる良い機会になった。

学術部

今年度の学術活動は中四国支部医学検査学会への参画、島臨技研修会の開催、精度管理調査、島根医学検査の発刊を中心に取り組んだ。

島臨技主催の生涯教育研修事業（部門研修会）は 8 回開催した。中四国支部医学検査学会の

関係で例年より開催数が少なかったが各部門長並びに実務委員など関係者の努力により、各部門で内容の濃い研修会が企画され開催でき、多数の会員の皆さんに参加いただいた。

精度管理事業については、平成 29 年度より日臨技の精度管理システムを導入し、本年度で 3 回目となった。精度管理報告会は、4 月に開催予定であったが新型コロナの関係で中止になった。結果については、精度管理システムからの閲覧及び CD の配布のみを行った。

第 8 回島根県医学検査学会は、令和 2 年 4 月に出雲市で開催予定であったが上記の理由で中止になり抄録のみの配布となった。

「島根医学検査 Vol.47」を発刊する予定であるが、投稿論文数は昨年度より少なかった。今後は多くの会員の投稿を期待したい。

経理部

近年、島臨技入会者数は増加傾向であり、今年度もわずかではあるが会員数の増加を認め、安定した収入を維持することができた。

令和元年度を振り返ると、やはり活動の中心は 11 月に松江市で開催された「第 52 回中四国支部医学検査学会」という大イベントに向けての準備であった。そのため、例年に比べると各部門の研修会開催は少なく、事業収入としての研修会参加費は予算額を下回る結果となった。しかし、会員の皆様のご協力のお陰で学会を無事盛会裏に終えられたことは、島臨技にとって何よりの収穫であった。

年明け早々からは新型コロナウイルス感染症が発生し、その感染拡大は留まることを知らず。今なお感染者数は増加の一途で全く先が見えない状況であるが、幸いにも今年度予定されていた島臨技事業や研修会は、資金面でも問題なく無事終了し、安定した年度末正味財産で令和 2 年度に引き継ぐことができた。

最後に、今年度も各方面でご協力いただきました企業、関係者の皆様に心より感謝し、御礼申し上げます。

西部地区

今年度は「横の繋がり」作りを意識した島臨技交流会を 8 月 17 日に浜田医療センター総合研修センターにて開催した。東部地区からの参加もあり、中四国学会前に繋がりを作る良い機会となったと思われる。

公益活動として毎年参画してきた浜田市健康福祉フェスティバルは今年度の開催が見送られた。来場者の減少（同様の行事がこの時期に集中）に伴い、内容や開催時期の検討がされた為である。また、年度明けの令和 2 年 4 月に第 8 回島根県医学検査学会を開催する予定で準備を進めていたが、日本国内における新型コロナ感染症拡大に伴い中止となった。

中四国支部医学検査学会

11 月 2・3 日の 2 日間、島根県松江市において 2019 年度日臨技中四国支部医学検査学会（第 52 回）を開催した。心配していた一般演題も 153 題集まり質実共に充実した学会となったこと

に深く感謝申し上げます。

思い起こせば、山口学会の視察、山口県と香川県との引継ぎ会に参加、香川学会の視察、香川県との引継ぎ会と長きにわたって学会の準備を進めてきた。そして、徳島県への引継ぎ会も無事終了したことをご報告する。この間、終始不慣れな学会事務作業のため、役員の皆さんには多大なご苦勞をお掛けしたものと反省している。しかし、このようなイベント開催における島臨技会員の力量には目を見張るものがあり、十分な打ち合わせが行えなかった部門でも、各自が知恵と工夫を「臨機応変」に駆使してみごとに乗り越えていく姿を幾度となく拝見した。これは島臨技の伝統であると思われ、人材育成にご尽力いただいた諸先輩方に心より敬意を表するものである。

次回の担当は 9 年後であるが、学会の在り方、社会的状況等々大きく変化しているものと予想される。しかし、島臨技会員のマインドは変わることはないと信じている。今後一層、会員相互の顔が見える組織を目指し、積極的に交流の場を設け、気兼ねなく語り合える雰囲気づくりを構築しなければならない。

学会運営にご協力いただきました会員の皆様に改めて御礼を申し上げます。

【第2号議案】

令和元年度 一般会計決算

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

収入の部			令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	増減	備考
款	項	目				
会費収入			3,980,000	4,050,000	70,000	
	会費収入	会員会費	3,080,000	3,150,000	70,000	450名
		賛助会員会費	900,000	900,000	0	45社
事業収入			1,430,000	1,680,000	250,000	
	事業収入	広告収入	400,000	190,000	△ 210,000	島根医学検査、ニュース
		研修会参加費	200,000	127,000	△ 73,000	
		精度管理参加費	230,000	238,000	8,000	42施設
		助成金	600,000	1,125,000	525,000	日臨技助成金
雑収入	雑収入	雑収入	15,000	218,299	203,299	預金利息、文献使用料、コピー代
繰越収入	繰越収入	前年度繰越金	3,736,201	3,736,201	0	
収入合計			9,161,201	9,684,500	523,299	

支出の部			令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	増減	備考
款	項	目				
事務費			3,310,000	2,687,639	△ 622,361	
	庶務費		2,150,000	1,951,808	△ 198,192	
		役員報酬	300,000	294,000	△ 6,000	
		人件費	1,100,000	1,000,740	△ 99,260	事務職員人件費
		消耗品費	300,000	310,699	10,699	ラベル、封筒、コピー用紙他
		通信費	200,000	136,419	△ 63,581	電話、インターネット、切手他
		備品費	170,000	163,296	△ 6,704	コピー機リース料
		管理諸費	80,000	46,654	△ 33,346	支払い手数料、登記諸費用
	会議費		610,000	253,565	△ 356,435	
		会議費	60,000	18,555	△ 41,445	理事会他
		旅費交通費	550,000	235,010	△ 314,990	
	事務所費	事務所費	500,000	464,239	△ 35,761	事務所家賃、光熱水道費
	雑費	雑費	50,000	18,027	△ 31,973	
事業費			3,990,000	2,547,917	△ 1,442,083	
	総会費	総会費	120,000	126,800	6,800	議案集、会場費、講師料他
	精度管理費	精度管理費	700,000	542,231	△ 157,769	試料代、発送料、実務委員日当
	学術活動費		1,650,000	709,399	△ 940,601	
		学術活動費	1,200,000	340,699	△ 859,301	研修会、県学会
		会誌	450,000	368,700	△ 81,300	島根医学検査
	広報活動費		1,050,000	930,096	△ 119,904	
		島臨技ニュース	400,000	404,749	4,749	年4回発行
		広報活動費	200,000	138,180	△ 61,820	HPリニューアル、維持管理
		地域活動費	450,000	387,167	△ 62,833	検査と健康展、健康フェスティバル、他
	組織強化費		470,000	239,391	△ 230,609	
		厚生費	300,000	139,445	△ 160,555	会員慶弔費、新年賀会
		組織強化費	170,000	99,946	△ 70,054	
予備費	予備費	予備費	400,000	135,800	△ 264,200	
支出合計			7,700,000	5,371,356	△ 2,328,644	

区分	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	増減	備考
収入額	9,161,201	9,684,500	523,299	
支出額	7,700,000	5,371,356	△ 2,328,644	
差引額	1,461,201	4,313,144	2,851,943	

《学会準備金》 1,000,000円

《令和元年度末正味財産》 5,313,144円

貸借対照表

令和 2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	7,218,144	6,641,201	576,943
流動資産合計	7,218,144	6,641,201	576,943
2.固定資産			
(1)特定資産			
学会準備積立資産	1,000,000	1,342,808	△ 342,808
特定資産合計	1,000,000	1,342,808	△ 342,808
固定資産合計	1,000,000	1,342,808	△ 342,808
資産合計	8,218,144	7,984,009	234,135
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	2,905,000	2,905,000	0
流動負債合計	2,905,000	2,905,000	0
負債合計	2,905,000	2,905,000	0
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	5,313,144	5,079,009	234,135
(うち基本財産への充当額)			(0)
(うち特定財産への充当額)	(1,000,000)	(1,342,808)	(0)
正味財産合計	5,313,144	5,079,009	234,135
負債及び正味財産合計	8,218,144	7,984,009	234,135

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	(4,050,000)	(4,029,000)	(21,000)
会費(正会員)	3,150,000	3,129,000	21,000
会費(賛助会員)	900,000	900,000	0
事業収益	(555,000)	(787,500)	(△ 232,500)
広告収入	190,000	355,000	△ 165,000
研修会参加費	127,000	194,500	△ 67,500
精度管理参加費	238,000	238,000	0
受取補助金等	(1,125,000)	(1,060,190)	(64,810)
補助金等	1,125,000	1,060,190	64,810
その他収益	(218,299)	(10,848)	(207,451)
受取利息	51	48	3
雑収入	218,248	10,800	207,448
経常収益計	5,948,299	5,887,538	60,761
(2) 経常費用			
庶務費	(2,687,639)	(2,612,440)	(75,199)
役員報酬	294,000	294,000	0
人件費	1,000,740	1,096,136	△ 95,396
消耗品費	310,699	218,539	92,160
通信費	136,419	145,565	△ 9,146
備品費	163,296	163,296	0
管理諸費	46,654	5,166	41,488
会議費	18,555	30,823	△ 12,268
旅費交通費	235,010	200,680	34,330
事務所費	464,239	449,563	14,676
雑費	18,027	8,672	9,355
事業費	(2,683,717)	(2,955,645)	(△ 271,928)
総会費	126,800	108,000	18,800
精度管理費	542,231	515,776	26,455
学術活動費	340,699	862,346	△ 521,647
会誌	368,700	274,610	94,090
島臨技ニュース	404,749	376,920	27,829
広報活動費	138,180	131,070	7,110
地域活動費	387,167	269,227	117,940
厚生費	139,445	221,728	△ 82,283
組織強化費	99,946	69,608	30,338
予備費	135,800	126,360	9,440
経常費用計	5,371,356	5,568,085	△ 196,729
当期経常増減額	576,943	319,453	257,490
当期一般正味財産増減額	576,943	319,453	257,490
一般正味財産期首残高	4,736,201	4,759,556	△ 23,355
一般正味財産期末残高	5,313,144	5,079,009	234,135
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	5,313,144	5,079,009	234,135

【第 3 号議案】

監査報告書

【第4号議案】**役員を選任**

理事	吉岡 豊道	益田赤十字病院
理事	豊田 健治	益田市医師会臨床検査センター
理事	野津 礼子	大田市立病院
理事	領家 敬子	島根県立中央病院
理事	赤沼 佳子	島根県立中央病院
理事	荒木 剛	島根大学医学部附属病院
理事	兒玉 るみ	島根大学医学部附属病院
理事	藤原 誠	雲南市立病院
理事	池田 智美	安来第一病院
理事	糸原 奈奈	松江医療センター
理事	石川 理恵	松江生協病院
理事	杉原 辰哉	松江市立病院
理事	錦織 昌明	松江赤十字病院
理事	青戸 正樹	松江赤十字病院
理事	高野 智晴	松江赤十字病院
監事	堀川 清治	出雲市総合医療センター
監事	高橋 和子	島根県環境保健公社

専門別活動報告

1 総務部

1) 諸会議

(1) 定期総会 令和元年 6 月 2 日 (日) 会場 島根大学医学部附属病院 (出雲市)

- ・平成 30 年度経過報告
- ・平成 30 年度決算報告
- ・会計監査報告
- ・役員を選任

出席者 102 名 委任状 246 名 (会員総数 451 名)

(2) 理事会

第 1 回 令和元年 5 月 24 日 (金) 会場 島根大学医学部附属病院 (出雲市)

報告事項

《総務》

高野総務部長より以下の報告があった

- ・会員の動向 454 名 (入会 18 名) 令和元年 5 月 23 日現在
- ・ベッドサイド実践講習会 (旧: 多職種連携のための能力開発講習会) を
5 月 26 日 (日) と 6 月 16 日 (日) の 2 日間、松江赤十字病院にて開催予定
- ・参加申込 29 名 (予定定員数 25 名程度)
- ・今年度の新年賀会は令和 2 年 1 月 18 日 (土) 武志山荘にて開催

《企画》

渡辺企画部長より以下の報告があった

【LOVE49】

- ・4 月 27 日 (土) イオンモール出雲にて開催済み 3 名参加

【検査と健康展】

- ・12 月 7 日 (土) 松江イオンショッピングセンターで開催予定

《学術》

鳥谷学術部より以下の報告があった

【島臨技サーベイ】

- ・今年度の日程

募集期間 7 月 16 日 (火) ~ 7 月 31 日 (火)

試料発送日 10 月 8 日 (火)

実施日 10 月 9 日 (水)

測定結果入力期間 10 月 9 日 (水) ~ 10 月 31 日 (金)

- ・システムの初期設定はシステム管理会社 (H&T 社) に依頼
- ・設定費用 100,000 円 (税抜) / 年
- ・上記内容で日臨技へ使用申請書を提出済み

《西部》

恒松西部地区長より以下の報告があった

- ・第 7 回島根県医学検査学会 平成 31 年 3 月 10 日 参加者 99 名
- ・今年度の浜田市健康福祉フェスティバルは未開催

《会長》

三島会長より以下の報告があった

- ・日臨技タスク・シフティング抽出業務の実施状況緊急調査への協力について

三島会長より報告あり。全会員対象で、6/9までに回答する。別紙参照。

事務局より施設宛にお願いのメールを送付。

《事務局》

荒木事務局長より以下の報告があった

- ・第68回日本医学検査学会（下関）の中四国支部地酒自慢コーナーへ日本酒2本送付
- ・令和元年度 都道府県技師会災害対策研修会へ荒木事務局長が参加

7月13日（土）～ 7月14日（日） 日本臨床検査技師会館にて開催

審議事項

1. 学術副部門長空席について（鳥谷）

染色体・遺伝子部門の宍戸氏が転勤により、副部門長が空席
浜田医療センターに打診中。西部の方に受けて貰えるよう希望

2. 研修会等の中止基準と連絡方法について（三島） 承認

日程がかぶることがあるので、事務局に予定を連絡する
中止の場合は島臨技のHPに掲載する。（参考資料：愛知県歯科衛生士会）

3. 島臨技サーベイについて（鳥谷） 承認

①島根県の精度管理調査方法は各担当部門長に委ねられている。各部門の評価方法の妥当性
評価は行われておらず、担当者は前年の調査内容などを検討し次期に繋げている→日臨技
や他県の指針を参考に実施する

②C,D 評価結果についての原因調査やサーベイ試料の再測定など調査後のフォロー体制も
未完成である→できるだけフォローアップする。

上記①②について精度管理委員と学術は別部門にしないと担当者の負担が大きい
あるいは部門員の増員を要望する

4. 今年度の施設代表者会議について（領家） 承認

- ・新年賀会と同日での開催予定（令和2年1月18日 土曜日）
- ・会場はビッグハート出雲 茶のスタジオ
- ・タイトル：「検査室以外での検査の管理や病棟業務について」
県内のそれぞれの施設が取り組んでいることなど発表する

5. 島根県医学検査学会について（荒木一恒松代）

- ・今年度は出雲市で開催希望。座長は浜田地区から選出を依頼予定
- ・今後は西部と東部を交互に開催し、西部開催時は西部理事が、東部開催時は東部理事が
開催を企画する方向でお願いできないか？ → 今年度は中四国学会もあるので、県学会開
催の有無と精度管理報告会の日程など検討する。その他は今後相談

6. 西部地区での横の繋がりを意識した集いの開催について → 今後検討

その他

- ・事務員（藤原）の退職積立について（荒木）
積み立て自体は了承されているので、次回理事会までに荒木事務局長が詳細を提示

第2回 令和元年6月2日(日) 会場 島根大学医学部附属病院(出雲市)

報告事項

なし

審議事項

1.理事の職務担当について

- ・総会で承認された15名の理事の役職を決定
- ・会長に立候補した三島清司理事が承認され、以下の通り役職が決定した。

代表理事(会長)	三島 清司	島根大学医学部附属病院
副会長(学術担当)	錦織 昌明	松江赤十字病院
副会長(総務・企画担当)	領家 敬子	島根県立中央病院
専務理事(事務局長)	荒木 剛	島根大学医学部附属病院
常務理事(西部地区長/広報)	恒松 巧	島根県済生会江津総合病院
常務理事(総務部長)	高野 智晴	松江赤十字病院
常務理事(企画部長)	渡辺 仙子	松江生協病院
常務理事(学術部長)	鳥谷 悟	松江市立病院
常務理事(経理部長/企画)	新田 江里	島根大学医学部附属病院
理事(企画部/広報)	角 和子	松江市医師会検査センター
理事(学術部)	朝倉 弘司	松江市立病院
理事(学術部/広報)	角 瑞穂	松江市立病院
理事(広報)	赤沼 佳子	島根県立中央病院
理事(西部地区/学術部)	豊田 健治	益田地域医療センター医師会病院
理事(西部地区/企画部)	吉岡 豊道	益田赤十字病院
監事	渡部 由美	出雲市総合医療センター
監事	横田 牧子	島根県環境保健公社

第3回 令和元年8月2日(金) 会場 島根大学医学部附属病院(出雲市)

報告事項

《総務》

高野総務部長より以下の報告があった

- ・会員の動向 454名 令和元年8月1日現在
- ・6月10日付 第4回中国医療情報技師会研修会 後援承諾書送付
- ・7月22日付 島根県糖尿病合同研修会2019 後援承諾書送付
- ・ベッドサイド実践講習会 28名参加
- ・施設代表者会議について、あらかじめ県内の施設にアンケートを出し、集計報告する

《学術》

鳥谷学術部長より以下の報告があった

【研修会】

- ・終了した研修会

4月6日	生物化学分析部門研修会	(参加者18名)
5月26日	ベッドサイド実践講習会(1日目)	
6月16日	ベッドサイド実践講習会(2日目)	(参加者28名)
6月15日	臨床一般部門研修会	(参加者55名)
6月23日	第2回 生物化学分析部門研修会	(参加者26名)
7月20日	臨床微生物部門研修会	(参加者21名)

《西部》

恒松西部地区長より以下の報告があった

【島臨技交流会】

- ・8月17日（土）浜田医療センターにて開催予定

【第8回島根県医学検査学会】

- ・年度が明けた4月に精度管理報告会と一緒に開催予定
- ・日程調整中

《会長》

三島会長より以下の報告があった

- ・日臨技総会（6/22 東京）の報告

定款改正により、来年度より各県の会長または相当する人が理事になり、理事数が増える。

- ・支部幹事会（6/29 岡山）の報告

1. 日臨技支部研修会の運用ガイダンスが4月改訂され、手続がより明確になった。

2. これに伴い、支部学術部門申し合わせを一部改訂し、各部門長へ連絡した。

部門委員が任期の前に交代する場合、支部長や学術部長、部門長へ伝わっていない事例有り。交代するときの手順についても申し合わせ事項に加えた。

3. 11月の中四国支部学会の進捗状況と協力を説明した。

4. 日臨技医療技術部門管理資格認定制度について

従来の認定管理検査技師制度を廃止し、新たに医療技術部門の管理者、医療機関運営を担いえる人材育成のため、医療マネジメント科目を設置する大学院（千葉科学大学）と共同で医療技術部門管理資格認定制度を創設することが報告された。

5. 日臨技会員が感染症に罹患した場合の補償について

インフルエンザも対象となるなどについて会員に周知するよう協力依頼があった。

詳しくはHP参照。

6. 来年の中四国学会 10/24、25 徳島で開催予定。次は岡山。

7. 愛媛県の高村会長よりニューリーダー育成に関するアンケート協力へのお礼と下関での医学検査学会一般演題発表資料の提供があった。資料は後日各理事へ配布する。

- ・日臨技地域ニューリーダー育成研修会（10/18-20、熱海）島根県中 公田氏参加予定

《事務局》

荒木事務局長より以下の報告があった

都道府県災害対策研修会参加報告（7/13、14）（荒木事務局長が出席）

- ・災害対策マニュアルなど作成する必要。

- ・医師会、薬剤師会は災害協定がある。

問屋なども含めて、学会が終わってから協議する。

審議事項

1.事務員（藤原）の退職積立について

中小企業退職金共済契約の資料を回覧。

月掛金1万円で承認

その他

- ・島根医学検査を来年の7月に発行予定

第4回 令和元年12月13日(金) 会場 島根大学医学部附属病院(出雲市)

報告事項

《総務》

高野総務部長より以下の報告があった

- ・会員の動向 452名(入会25名) 令和元年12月12日現在
- ・地域ニューリーダー研修会 受講報告(公田氏)別紙

【設代表者会議】

日時:令和2年1月18日(土)14時30分より

会場:ビッグハート出雲 茶のスタジオ

テーマ:「検査室以外での検査の管理や病棟業務について」

アンケート結果報告 高野智晴

島根大学附属病院検査室 吉野功氏

浜田医療センター 平岡健吾氏

島根県健康福祉部 ご担当者

(発表の平岡氏、吉野氏に交通費、謝礼を支払う) 承認

《企画》

渡辺企画部長より以下の報告があった

【検査と健康展】

- ・12月7日(土)10:00~16:00 イオン松江ショッピングセンターで開催
- ・当日の要員人数:延べ24人(常時19人)
- ・来場者数:175人
検査項目:骨密度133人、肺機能113人、血管年齢170人、
脳年齢は大人気で常に行列 その為脳年齢は受付番号155で終了
ストレス度チェックも常に待人が居る状態
医師による無料相談を利用される方もあり
- ・来場者の中に4年前の検査と健康展で骨密度検査を受けて異常を発見後治療し
改善したとの話から「検査と健康展」の意義を痛感

《学術》

鳥谷学術部より以下の報告があった

【島臨技サーベイ】

- ・10月9日(水)に実施
- ・参加施設42施設(県内施設41施設+アークレイマーケティング)
- ・医師会からの申し込みは無

【研修会】

- ・10月14日 臨床一般部門研修会 参加者38名
- ・10月22日 学会対応接遇研修会 参加者123名
- ・11月30日 染色体・遺伝子部門研修会 参加者9名

《西部》

恒松西部地区長に代わり、荒木事務局長より以下の報告があった

【島臨技交流会】

- ・8月17日（土）浜田医療センターにて開催

【第8回島根県医学検査学会】

- ・令和2年4月5日（日） 島根大学医学部附属病院ゼブラ棟だんだんで開催
（精度管理報告会と同日開催）

《会長》

三島会長より以下の報告があった

- ・理事・監事の辞表

全理事・監事より令和元年12月2日付で辞任届が提出された。

定款に従い次期役員の選出手続きを始めることとした

- ・支部学会の問題点と課題（別紙）（支部長へ提出済）
- ・県との災害協定について 今後県と協議する方向で検討
- ・LD、ALPのIFCCへの変更（来年度）

施設代表者会議で情報提供、各施設の対応状況を聴取し、技師会としての対応が必要かを検討する。

- ・会員数資料提供（鳥取大学保健学科）

保健学科の今後のあり方を検討する資料とするために島根と鳥取の技師会に提供依頼があった。過去の会員数を提供した

- ・今後の予定：

日臨技賀詞交換会（1/24）、全国幹事連絡会議（1/25）、支部幹事会（2/1）、
中四国支部学会引き継ぎ会（2/22）、島臨技総会（6/7）、日臨技総会（6/20）

《事務局》

荒木事務局長より以下の報告があった

- ・顧問の変更

松江赤十字病院 大居慎治氏（平成30年4月より）

島根大学医学部附属病院 矢野彰三氏（令和元年9月より）

- ・新年賀会

令和2年1月18日（土） 17:00から 出雲市武志山荘にて

審議事項

1. 令和2年2月1日 輸血細胞治療部門研修会について（別紙） 承認
2. 令和2年4月5日（日） 第8回島根県医学検査学会の演題について
中四国学会で発表された方を対象に部門長の推薦により各部門で1題ずつ選出する

3. 役員推薦委員について（荒木） 承認

各施設から推薦された方

徳田 憲治 氏	益田赤十字病院
石川 祐介 氏	島根県済生会江津総合病院
兒玉 るみ 氏	島根大学医学部附属病院
糸賀 真理 氏	島根県立中央病院
藤原 誠 氏	雲南市立病院
山本 貴子 氏	松江赤十字病院

4. 学会収支について（錦織） 承認

最終決算は終わっていないが黒字決算の見込み
次回の学会のために学会準備金の積み立ても必要

5. 事務員の業務内容について（荒木）

事務員の仕事量が年々増大しているので、事務員の仕事と役員等の仕事の見直しをする
事務員の仕事と役員等のすべき仕事を洗い出す

6. 日臨技への要望

全国幹事連絡会議（1/25 開催）へ以下について提出することとなった
学会の事前参加登録の推進、演題登録システムの改善、認定資格の更新の講習会が中央中心
で開催しているが、地方での開催を要望
他に何か案があれば 12/16 までに三島会長までメールにて連絡

7. その他

- ・次期部門長選出について（鳥谷）
→ 現部門長に次期部門長候補についての意見を求める
- ・島臨技ニュース（学会特集号）を藤原氏（雲南市立病院）が担当する（赤沼） 承認
- ・生物化学分析部門研修会をサテライト運用したい。WEB カメラなど必要備品を技師会で購入して欲しいとの要望があった（三島）
一度トライアル的に実施し、運用上問題がなければ購入を検討する
- ・技師会の PC が Windows7 なので今後更新が必要（荒木）
→ 日臨技受付ソフトが Windows8.1 までしか対応していないので、直ちに更新できない。
今後のリリース予定について全国幹事連絡会議への質問・要望事項に含める

第 5 回 令和 2 年 3 月 新型コロナ感染症拡大予防の為 メール会議
報告事項

〈総務〉

高野総務部長より以下の報告があった

- ・会員の動向 452 名（入会 25 名） 令和 2 年 3 月 26 日現在

【設代表者会議】

日時：令和 2 年 1 月 18 日（土）14 時 30 分より

会場：ビッグハート出雲 茶のスタジオ

テーマ：「検査室外での検査の管理や病棟業務について」

アンケート結果報告 高野智晴

島根大学附属病院検査室 吉野功氏

浜田医療センター 平岡健吾氏

島根県健康福祉部 松林あずさ氏

県内の検体検査の精度管理の状況、検査室外での検査の管理状況の報告を行った。参加された会員からは県内の病院や診療所では検査室内での標準作業書や作業日誌・台帳などの作成はかなり進んでいるが、検査室外での管理はまだ準備できていない状況で、今回施設発表として島根大学

医学部検査室、浜田医療センター検査室の講演は今後各施設が検査室以外の検体検査管理を進める上で参考になったと感想をいただいた。

また法改正を受けて、「医療監視をする立場からとして」出雲市保健所の臨床検査技師の講演が行われた。「監査する側のお話も詳しく説明があり良かった」「行政側に直接質問、回答を得られるのは良かった」などの感想があった。

また今後のテーマとして管理加算、DPC 医事に関する話、精度管理、中堅職員のマネジメント、医療監視（立入検査）を受けて指摘事項などの検討会、他施設での対応などについてご意見要望があった。

《学術》

鳥谷学術部長より以下の報告があった

【研修会】

- ・ 2月 1日 輸血細胞治療部門研修会 参加者 38名
- ・ 2月 15日 病理・細胞部門研修会 参加者 18名

《会長》

1. 島根県医師会への情報提供

2020.2.14 LD と ALP の IFCC 法変更について情報提供を行い、会員への周知を依頼

2. 日臨技全国幹事連絡会議（2020.1.25）および中四国支部幹事会（2020.2.1）報告

- ・ 生涯教育推進研修会：R2 年度より、1 研修会、定額 3 万円＋参加者 1 名あたり 500 円（最大 5 万円）補助に変更
- ・ 検査と健康展：臨床検査や臨床検査技師に関する正しい知識の普及、啓発を目的に企画（健康展主体の企画は避ける）
- ・ 地域ニューリーダー実践講習会：R2 年度より第 2 期 新たな人材を推薦
- ・ 初級・職能開発講習会：卒後 3～10 年目対象、定額 5 万円＋参加者 1 名あたり 1,000 円日臨技が補助
- ・ ベッドサイド研修会：R2 年度は中止し、内容の見直し
- ・ R2・3 年度日臨技理事候補：島根県からは錦織副会長を推薦
- ・ 検体採取指定講習会終了：修了者 59,965 名（会員受講率 77.9%）、島根県 345 名（77.2%）、今後の開催は未定
- ・ 新施設認証制度：日臨技サーベイと一体化する方向。
- ・ R2 年度中四国支部学会（徳島県）：特別企画決定
- ・ 令和元年度支部学術奨励賞候補 3 名選出、日臨技へ提出
- ・ 来年度以降の支部研修会担当県の確認

《事務局》

荒木事務局長より以下の報告があった

【定期総会】

令和 2 年 6 月 7 日（日） ゼブラ棟 だんだんにて開催予定

審議事項

1. 島臨技過去の写真について（赤沼）

承認

島臨技広報部に過去のニュースのために撮影された写真が残っている

- (ネガ 50 本～100 本弱) 富士フィルムで 1 本 400 円にてデジタル化を検討
2. 令和 2 年予算案 承認

2 企画部

公益活動

(1) 子宮頸がん予防啓発活動 (LOVE 49)

日 時 平成 31 年 4 月 27 日 (日) 10 時～16 時
内 容 パネル展示及びクイズラリー、アンケートやパンフレットの配布、
バルーンアート、マリンバ・ピアノ演奏
会 場 イオンモール出雲 1 階 もめんコート
(実務委員) 石岡 秀子 (島根県立中央病院)
領家 敬子 (島根県立中央病院)
白鷺 大輝 (島根県立中央病院)

(2) 検査と健康展

日 時 令和元年 12 月 7 日 (土)
会 場 松江イオンショッピングセンター 1 階吹き抜け広場
内 容 1.骨密度測定 2.血管年齢測定 3.肺活量測定
4.脳年齢測定 5.ストレス度チェック 6.医師による健康相談
7.パネル展示 8.パンフレット、チラシの配布
実務委員 松原真奈美・片寄志保 (島根県立中央病院)
糸賀真理・領家敬子 (島根県立中央病院)
高野智晴・曾田悠介 (松江赤十字病院)
梶谷凌也・青山真理 (松江赤十字病院)
三原沙也茄・檜木玲奈 (島根県環境保健公社)
高橋和子・三島悠子 (島根県環境保健公社)
渡辺仙子・荒川知恵子 (松江生協病院)
石川利恵 (松江生協病院) 吉原孝紀 (松江市立病院)
新田江里・尾島優志 (島根大学医学部附属病院)
小松文香 (島根大学医学部附属病院) 野田以登子 (鹿島病院)
角和子 (松江医師会検査センター) 吉儀美賀 (玉造病院)
若槻純子 (雲南市立病院) 藤原圭子 (島臨技事務局)
被 検 者 175 名

3 西部地区

(1) 島臨技交流会 (西部地区横の繋がりを！)

日 時 令和元年 8 月 17 日 (土)

会 場 浜田医療センター 2階 総合研修センター
内 容 施設紹介、国試に挑戦
参加者 20名

(2) 第8回 島根県医学検査学会

令和2年4月5日(日) 開催予定が新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

4 広報部

島臨技ニュース

No. 156 (令和元年 7月)

新役員名簿、事業計画、精度管理報告会及び県学会、学会準備情報、他 (P 16)

No. 157 (令和元年 10月)

ベッドサイド実践講習会、島臨技交流会、三島会長受賞報告、他 (P 14)

No.158 (令和2年 1月)

2019年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会特集号 (P 16)

No.159 (令和2年 3月)

施設代表者研修会、新年賀会、検査と健康展、各種研修会報告 (P 12)

5 学術部

1) 学術各賞の表彰について

・最優秀論文賞

藤川 純子 島根大学医学部附属病院

『甲状腺穿刺吸引細胞診の不適正検体改善を目指して』

・最優秀発表者賞

平岡 健吾 NHO 浜田医療センター

『当センターにおける医療法一部改正への対応について』

・最多研修会参加者(7回)

小村 詩織 島根県済生会江津総合病院

盆子原 万里 平成記念病院

2) 研修会

(1) 第1回 生物化学分析部門研修会

日 時 平成31年4月6日(土) 14:00~16:45

会 場 浜田医療センター 2階 総合研修室

内 容 講演1「業務日誌の運用について 作成、運用ノウハウ」

講師：(株) エスアールエル エリア検査統括部 松本 登喜夫 先生
講演 2 ディスカッション (情報交換)

参加人数 18名

(2) ベッドサイド実践講習会

日 時 令和元年 5 月 26 日 (日) 10:00~16:15
令和元年 6 月 16 日 (日) 10:00~15:15 (2日間)

会 場 松江赤十字病院 6階 講堂

内 容 「臨床検査技師が他職種業務を知る意義 (DVD)」

(一社) 日本臨床衛生検査技師会 宮島 喜文 会長

「臨床検査技師が他職種業務を知る意義」

青山 真理 技師

「看護職から見た患者心理と家族とのコミュニケーション」

【座学・実技】 看護師 齋藤 涼子 先生

「知っておくべき薬理」

【座学】 薬剤師 河角 康 先生

「知っておくべきベッドサイド機器管理」

【座学・実技】 臨床工学士 福田 勇司 先生

「知っておくべき患者移送技術」

【座学・実技】 理学療法士 足川 和隆 先生

参加人数 28名

(3) 第 1 回 臨床一般部門研修会

日 時 令和元年 6 月 15 日 (土) 13:30~16:30

会 場 島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟だんだん

内 容 「正常 (良性) 細胞類と悪性細胞類との鑑別法」

講師：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス (株)

八木 靖二 先生

参加人数 26名

(4) 第 2 回 生物化学分析部門研修会

日 時 令和元年 6 月 23 日 (日) 13:00~15:50

会 場 島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟だんだん

内 容 講演 1 「関連項目の測定値から異常値を見つける」

講師：富士フィルム和光純薬 (株)

西川 敦子 先生

講演 2 「免疫検査の基礎知識」

講師：アボットジャパン (株)

村上 一友 先生

講演 3 「R-CPC」

講師：松江赤十字病院

岩田 祐紀 技師

参加人数 26名

(5) 第 1 回 臨床微生物部門研修会

日 時 令和元年 7 月 20 日 (土) 13:30~15:45

会 場 島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟だんだん

内 容 講演 1 「近年の CLSI の主な変更点について」
講師：バイオメリュー・ジャパン (株) 藤吉 章雄 先生
講演 2 「基礎から学べる！ ISO15189 に基づいた微生物検査室の構築」
講師：バイオメリュー・ジャパン (株) 木部 雄介 先生
参加人数 21 名

(6) 第 2 回 臨床一般部門研修会

日 時 令和元年 10 月 14 日 (月・祝) 13:00~16:30
会 場 島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟だんだん
内 容 講演 1 「日当直でも怖くない！尿定性検査の基礎と測定時の注意点」
講師：アークレイマーケティング (株) 茂田 学 先生
講演 2 「教科書に書いてない尿検査の話」
講師：国際医療福祉大学 宿谷 賢一 先生
参加人数 38 名

(7) 第 1 回 臨床検査総合部門研修会 (学会対応接遇研修会)

日 時 令和元年 10 月 22 日 (火・祝) 10:00~12:00
会 場 島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟だんだん
内 容 講演 1 「学会来場者をおもてなしするために」
講師： 島根県立中央病院 領家 敬子 技師
各担当部門に分かれての打ち合わせ
参加人数 123 名

(8) 第 1 回 染色体・遺伝子部門研修会

日 時 令和元年 11 月 30 日 (土) 14:00~16:30
会 場 島根大学医学部附属病院 A 病棟 2F さくら
内 容 講演 1 「モレキュラーダイアグノスティクスの現在」
講師：バイオメリュー・ジャパン (株) 奥村 元 先生
講演 2 「感染症診断の最前線
~POCT からシンドロミックアプローチまで~」
講師：バイオメリュー・ジャパン (株) 奥村 元 先生
参加人数 9 名

(9) 施設代表者研修会

日 時 令和 2 年 1 月 18 日 (土) 14:30~16:30
会 場 ビッグハート出雲 茶のスタジオ
内 容 1. アンケート結果報告
「検査室以外での検体検査の管理や病棟業務について」
2. 施設の取り組み
NHO 浜田医療センター 平岡 健吾 技師
島根大学医学部附属病院 吉野 功 技師
3. 講演「法改正を受けて、医療監視を実施する立場から」
島根県健康福祉部 松林あずさ 技師

参加人数 32名

(10) 第1回 輸血細胞治療部門研修会

日時 令和2年2月1日(土) 13:00~16:00

会場 島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟だんだん

内容 講演1「Daratumabによる多発性骨髄腫の治療」

講師：ヤンセンファーマ(株)

尾崎 智洋 先生

講演2「Daratumabの検査室へのアプローチ」

講師：日本赤十字社 血液事業本部

高梨 美乃子 先生

参加人数 42名

(11) 第1回 病理・細胞部門研修会

日時 令和2年2月15日(土) 13:30~16:30

会場 島根大学医学部附属病院 ゼブラ棟だんだん

内容 「病理検体サンプルにおける遺伝子解析の基礎と

PCRによる遺伝子検出実習」

講師：サーモフィッシャーサイエンティフィック

ライフテクノロジーズジャパン(株)

白神 博 先生

参加人数 18名

令和元年度 生涯教育一覧表

開催日時	科目	行事名	参加人数	点数
令和1年				
4月6日	検体検査	生物化学分析部門研修会	18	専門20
4月27日	公益活動	LOVE49 子宮頸がん予防・検診啓発活動	25	基礎20
5月26日	チーム医療	2019年度 ベッドサイド実践講習会	28	基礎30
6月2日	組織活動	定期総会	102	基礎30
6月15日	検体検査	一般検査研修会	54	専門20
6月23日	検体検査	生物化学分析部門研修会	26	専門20
7月20日	検体検査	臨床微生物部門研修会	21	専門20
10月14日	検体検査	第2回 臨床一般部門研修会	38	専門20
10月22日	基礎教養	学会対応接遇研修会	123	基礎20
11月30日	検体検査	染色体・遺伝子部門研修会	9	専門20
12月7日	公益活動	令和元年 検査と健康展	23	基礎20
令和2年				
1月18日	管理運営	施設代表者研修会	32	基礎20
2月1日	検体検査	輸血細胞治療部門研修会	38	専門20
2月15日	検体検査	病理・細胞部門研修会	18	専門20

令和元年度 名誉会員、参与及び顧問（順不同、敬称略）

顧問	木谷光博	益田赤十字病院
顧問	小阪真二	島根県立中央病院
顧問	矢野彰三	島根大学医学部附属病院

顧問	紀川純三	松江市立病院
顧問	中澤芳夫	島根県済生会江津総合病院
顧問	大居慎治	松江赤十字病院
名誉会員	榎野長蔵	自宅会員
名誉会員	岡喜之助	自宅会員
名誉会員	下瀬洋一	自宅会員
参与	下瀬洋一	自宅会員

令和元年度 委員会委員

1 表彰（賞・罰）審査委員会

委員長	兒玉 るみ	島根大学医学部附属病院
委員	糸賀 真理	島根県立中央病院
	青山 真理	松江赤十字病院
	荒木 剛	島根大学医学部附属病院

2 役員推薦委員会

委員長	石川 佑介	島根県済生会江津総合病院
委員	兒玉 るみ	島根大学医学部附属病院
	糸賀 真理	島根県立中央病院
	山本 貴子	松江赤十字病院
	徳田 憲治	益田赤十字病院
	藤原 誠	雲南市立病院

3 専門委員会

1) 「島根医学検査」編集委員会

委員長	鳥谷 悟	松江市立病院
委員	朝倉 弘司	松江市立病院
	角 瑞穂	松江市立病院
	錦織 昌明	松江赤十字病院

2) 都道府県標準化委員会

	鳥谷 悟	学術部長
	福間 弘行	精度管理委員長
	野津 吉友	基幹施設代表者
	錦織 昌明	基幹施設代表者
	野畑 亜希子	生物化学分析部門長
	坂根 聡	臨床血液部門長

4 部門委員会

1) 学術部

部門別研究班
生物化学分析部門

部門長	野畑 亜希子	島根大学医学部附属病院
副部門長	岩田 祐紀	松江赤十字病院
副部門長	平岡 健吾	NHO 浜田医療センター

副部門長	岡崎 亮太	島根大学医学部附属病院
臨床一般部門		
部門長	定方 智美	島根大学医学部附属病院
副部門長	横田 友理子	公立邑智病院
副部門長	原 康洋	松江赤十字病院
臨床血液部門		
部門長	坂根 聡	松江市立病院
副部門長	勝部 瑞穂	出雲市立総合医療センター
副部門長	古瀬 裕彦	松江生協病院
臨床微生物部門		
部門長	馬庭 恭平	島根大学医学部附属病院
副部門長	采原 隆志	NHO 浜田医療センター
副部門長	兒玉 綾香	島根県立中央病院メディエンス検査室
輸血細胞治療部門		
部門長	天野 美千子	松江生協病院
副部門長	石原 智子	島根大学医学部附属病院
副部門長	吉田 知夏	NHO 浜田医療センター
病理細胞部門		
部門長	長崎 雅幸	島根大学医学部附属病院
副部門長	田中 達夫	松江赤十字病院
副部門長	上垣 真由子	島根大学医学部附属病院
染色体・遺伝子部門		
部門長	三河 由佳	松江赤十字病院
副部門長	山下 大貴	NHO 浜田医療センター
副部門長	樋野 智	松江赤十字病院
臨床生理部門		
部門長	福間 麻子	島根大学医学部附属病院
副部門長	原 法子	島根県立中央病院
副部門長	下垣 真紀子	島根県立中央病院
副部門長	門永 陽子	松江市立病院
副部門長	三浦 久枝	益田赤十字病院
臨床検査総合部門		
部門長	永田 智紀	島根県立中央病院
副部門長	小池 尚司	安来市立病院
副部門長	吉岡 豊道	益田赤十字病院
精度管理委員会		
会長	三島 清司	島根大学医学部附属病院
責任者	鳥谷 悟	松江市立病院
委員長	福間 弘行	島根県立中央病院メディエンス検査室

副委員長
学識経験者

足立 絵里加
矢野 彰三

島根大学医学部附属病院
島根大学医学部附属病院 検査部長

精度管理実務委員会
委員

野畑 亜希子
平岡 健吾
汐田 晋也
糸原 智生
岩田 祐紀
岡崎 亮太
天野 美千子
定方 智美
横田 友理子
原 康洋
坂根 聡
勝部 瑞穂
山本 貴子
中島 美紀
福間 麻子
馬庭 恭平
長崎 雅幸
田中 達夫
山下 大貴
大野 元嗣
石原 智子
吉田 知夏
古瀬 裕彦
下垣 真紀子
三浦 久枝
原 法子
門脇 陽子
采原 隆志
兒玉 綾香
上垣 真由子
片寄 充男
吉原 孝紀

島根大学医学部附属病院
NHO浜田医療センター
島根県立中央病院メディエンス検査室
松江赤十字病院
松江赤十字病院
島根大学医学部附属病院
松江生協病院
島根大学医学部附属病院
公立邑智病院
松江赤十字病院
松江市立病院
出雲市立総合医療センター
松江赤十字病院
益田赤十字病院
島根大学医学部附属病院
島根大学医学部附属病院
島根大学医学部附属病院
松江赤十字病院
NHO浜田医療センター
松江生協病院
島根大学医学部附属病院
浜田医療センター
松江生協病院
島根県立中央病院
益田赤十字病院
島根県立中央病院
松江市立病院
NHO浜田医療センター
島根県立中央病院メディエンス検査室
島根大学医学部附属病院
島根県立中央病院
松江市立病院

(順不同)

2) 広報部

「島臨技ニュース」編集委員会

委員長
委員

赤沼 佳子
角 瑞穂

島根県立中央病院
松江市立病院

角 和子 松江市医師会検査センター

5 関連各種委員および役員

中国四国支部臨床検査技師会

部門連絡責任者学術担当 鳥谷 悟 松江市立病院

部門連絡責任者

生物化学分析部門 野畑 亜希子 島根大学医学部附属病院

臨床一般部門 定方 智美 島根大学医学部附属病院

臨床血液部門 坂根 聡 松江市立病院

臨床微生物部門 馬庭 恭平 島根大学医学部附属病院

輸血細胞治療部門 天野 美千子 松江生協病院

病理細胞部門 長崎 雅幸 島根大学医学部附属病院

染色体・遺伝子部門 三河 由佳 松江赤十字病院

臨床生理部門 福間 麻子 島根大学医学部附属病院

臨床検査総合部門 永田 智紀 島根県立中央病院

(順不同)

医学検査学会発表者

1. 第 68 回日本臨床医学検査学会（下関） 令和元年 5 月 18 日（土）～19 日（日）

一般演題発表

「ATL 測定において経時的に測定値上昇を認めた症例」

佐藤 恵美 島根大学医学部附属病院

「胸水細胞診で指摘し得た LE 細胞の 2 症例」

片寄 充男 島根県立中央病院

「超音波検査で自然退縮を観察しえた甲状腺サルコイドーシスの 1 症例」

矢田 恵梨香 島根大学医学部附属病院

「生理機能検査における認知症対応力向上への取り組み」

藤原 祐樹 社会医療法人 昌林会 安来第一病院

一般演題座長

病理 長崎 雅幸 島根大学医学部附属病院

生理 公田 幸子 島根県立中央病院

一般 原 康洋 松江赤十字病院

免疫血清 岩田 祐紀 松江赤十字病院

2. 第 53 回中四国医学検査学会（島根） 令和元年 11 月 2 日（土）～3 日（日）

【特別企画】

「ISO15189取得施設の立場から」

竹内 志津枝 島根大学医学部附属病院

【シンポジウム】

「生理学的検査の精度管理と教育プログラム～ISO15189を活用した取り組み
～当院の精度管理」

石飛 文規 島根大学医学部附属病院

「マルチプレックスPCRを用いた感染症検査～当院の使用経験より～」

松田 親史 島根大学医学部附属病院

一般演題発表

「尿中マルベリー小体よりファブリー病の診断に繋がった 1 症例」

上野 由希 島根県立中央病院メディエンス検査室

「OCセンサーPLEDIAの基礎的検討」

田原 歩華 公益財団法人 島根県環境保健公社

「検査科職員全員で取り組む参加型勉強会」

小川 実華 社会医療法人 昌林会 安来第一病院

「外来採血室における検査マーク機能活用によるインシデントの予防と患者満足度の向上」

吉田 芽以 島根県立中央病院

「生理検査患者引き継ぎチェックリストの運用」

片寄 志保 島根県立中央病院

「緊急内視鏡から見るルーチン業務へのフィードバック事項の検討」

永田 智紀 島根県立中央病院

「『もしかめ』は運動療法として有用か」

松本 昌也 社会福祉法人恩賜財団 島根県済生会 江津総合病院

「医療法改正に伴う当院の取り組み」

吉野 功 島根大学医学部附属病院

「診察予約時間を優先した採血システム導入後の採血待ち時間調査」

小笹 大貴 松江赤十字病院

「GS1-128バーコードを使用した試薬在庫管理の取り組み」

見山 晋一 松江赤十字病院

「初期臨床研修医に対する臨床検査技師による研修の取り組み」

松原 真奈美 島根県立中央病院

「CS-5100を用いたレボヘムPT及びトロンボレルSの基礎的検討」

福島 朱里 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター

「末梢血液塗抹標本に酵母様真菌貪食像を認めた1症例」

今岡 まみ 松江赤十字病院

「正球性貧血を呈したビタミンB12欠乏性貧血の一例」

小林 芳友 島根県立中央病院メディエンス検査室

「当院が経験したaHUSの1症例」

藤原 宇志 島根大学医学部附属病院

「梅毒定量RPR法においてキット間で乖離を認めた症例の解析」

佐藤 恵美 島根大学医学部附属病院

「低ホスファターゼ症治療薬による検査値への影響が疑われた1症例」

岡崎 亮太 島根大学医学部附属病院

「免疫自動分析装置AlinityによるintactPTH院内導入に向けての検討」

佐藤 悦子 雲南市立病院

「当院における便中カルプロテクチンの利用状況」

伊原 純笑 松江赤十字病院

「cobas8000|702|502|801|の導入効果」

平岡 健吾 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター

「全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルスG600Ⅱ」の基礎検討」

福岡 弘行 島根県立中央病院メディエンス検査室

「乳びによる溶血への影響の検討」

大國 翼 島根大学医学部附属病院

「フェリチン測定で初検値と希釈再検値の乖離が生じた一例」

柳楽 治希 松江赤十字病院

「当院の超音波検診併用乳がん検診の成績」

濱田 まいか 松江赤十字病院

「乳腺腺筋上皮腫(AME)の1症例」

中坂 文美 島根県立中央病院

- 「呼気ガス分析装置を用いた酸素消費量及び心拍出量測定の有用性の検討」
杉原 辰哉 松江市立病院
- 「不整脈を契機に診断された多発性骨髄腫合併ALアミロイドーシスの1例」
五歩池 加奈 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター
- 「当院で経験した巨大左房粘液腫の一症例」
小杉 晴香 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター
- 「脳梗塞精査で指摘した左房内異常構造物の1症例」
手銭 遥 島根県立中央病院
- 「当院における新生児聴覚スクリーニングと支援状況について」
石原 真紀 松江赤十字病院
- 「当検査室における心電図検査の精度管理」
常松 明莉 島根大学医学部附属病院
- 「当院における介助者の違いと内視鏡的粘膜下層剥離術の検討」
曾田 悠介 松江赤十字病院
- 「脳波検査が診断・治療の一助となった抗NMDA受容体脳炎」
奥井 富美子 松江赤十字病院
- 「ESBL産生大腸菌におけるPOT型解析とキノロン耐性率との関連の検討」
川島 史祥 島根大学医学部附属病院
- 「Haemophilus influenzaeによる感染性動脈瘤の1症例」
石倉 純子 総合病院松江生協病院
- 「小児の血液培養・便培養からSalmonella Typhiを検出した1症例」
小笠原 愛 松江赤十字病院
- 「当院における血液培養検査状況」
平井 由紀 松江市立病院
- 「島根県立中央病院小児科領域における血液培養陽性重症細菌感染症原因菌の推移」
和久利 美帆 島根県立中央病院メディエンス検査室
- 「<I>Mycobacterium marinum</I>と推定した<I>Mycobacterium chelonae</I>の一症例」
佐藤 瑞記 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター
- 「出生後に判明した先天性サイトメガロウイルス感染症の1例」
松田 親史 島根大学医学部附属病院
- 「遺伝子検査によって確定した腎臓原発のEwing肉腫の一例」
藤川 純子 島根大学医学部附属病院
- 「子宮頸部小細胞癌の一例」
久保 智子 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター
- 「口腔扁平上皮癌の細胞診断学的検討」
河上 衣舞妃 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター
- 「擦過細胞診でNILMと判定し、その後の病理診断と不一致であった口腔白板症の検討」
秀島 克巳 島根大学医学部歯科口腔外科学講座
- 「LBC（Cell Prep®）法による松江市子宮がん検診の現状と今後の課題」
吉原 孝紀 松江市立病院

「Ficin法が有用であった低力価不規則抗体保有患者への輸血症例」

糸賀 真人 島根県立中央病院

「術前検査でC特異性のある温式自己抗体を検出した症例」

齋藤 純子 益田赤十字病院

「高度外傷センターにおける血液搬送装置ATRの導入と運用について」

石原 智子 島根大学医学部附属病院

一般演題座長

生理 山崎 悠 島根大学医学部附属病院

チーム医療 小池 尚司 安来市立病院

微生物 平井 由紀 松江市立病院

微生物 采原 隆志 独立行政法人 国立病院機構 浜田医療センター

臨床化学 大井 幸子 益田赤十字病院

令和2年度 一般会計予算

収入の部

款	項	目	令和元年度 予算額	令和2年度 予算額	前年度比増減	備考
会費収入			3,980,000	3,980,000	0	
	会費収入	島臨技会費	3,080,000	3,080,000	0	440名
		賛助会員会費	900,000	900,000	0	45社
事業収入			1,430,000	1,310,000	△120,000	
	事業収入	広告収入	400,000	300,000	△100,000	島根医学検査、島臨技ニュース、HP
		研修会参加費	200,000	180,000	△20,000	
		精度管理参加費	230,000	230,000	0	40施設
		助成金	600,000	600,000	0	日臨技助成金
雑収入	雑収入	雑収入	15,000	15,000	0	預金利息、事務手数料他
繰越収入	繰越収入	前年度繰越金	3,400,000	4,200,000	800,000	
収入合計			8,825,000	9,505,000	680,000	

支出の部

款	項	目	令和元年度 予算案	令和2年度 予算案	前年度比増減	備考
事務費			3,310,000	3,410,000	100,000	
	庶務費		2,150,000	2,250,000	100,000	
		役員報酬	300,000	300,000	0	役員報酬
		人件費	1,100,000	1,200,000	100,000	事務職員人件費、退職金積み立て
		消耗品費	300,000	300,000	0	ラベル、封筒、コピー用紙他
		通信費	200,000	200,000	0	電話、切手他
		備品費	170,000	170,000	0	コピー機リース料
		管理諸費	80,000	80,000	0	支払い手数料
	会議費		610,000	610,000	0	
		会議費	60,000	60,000	0	理事会他
		旅費交通費	550,000	550,000	0	理事会他
	事務所費	事務所費	500,000	500,000	0	家賃32,000円×12 光熱水道費5,000円×12
	雑費	雑費	50,000	50,000	0	
事業費			3,990,000	3,810,000	△180,000	
	総会費	総会費	120,000	140,000	20,000	議案集、会場費、講師料、記念品他
	精度管理費	精度管理費	700,000	700,000	0	試料代、発送料、実務委員日当
	学術活動費		1,650,000	1,450,000	△200,000	
		学術活動費	1,200,000	1,000,000	△200,000	研修会、島根県医学検査学会
		会誌	450,000	450,000	0	島根医学検査、島根県医学検査学会抄録
	広報活動費		1,050,000	1,050,000	0	
		島臨技ニュース	400,000	400,000	0	年4回発行
		広報活動費	200,000	200,000	0	ホームページ関係
		地域活動費	450,000	450,000	0	検査と健康展、他
	組織強化費		470,000	470,000	0	
		厚生費	300,000	300,000	0	会員慶弔費
		組織強化費	170,000	170,000	0	
予備費	予備費	予備費	400,000	400,000	0	
支出合計			7,700,000	7,620,000	△80,000	

区分	令和元年度 予算案	令和2年度 予算案	前年度比増減	備考
収入額	8,825,000	9,505,000	680,000	
支出額	7,700,000	7,620,000	△80,000	
差引額	1,125,000	1,885,000	760,000	

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 永年職務精励者 表彰
令和 2 年度 定期総会 (令和 2 年 6 月)

荒 木	剛	島根大学医学部附属病院
森 奥	雪 世	松江赤十字病院
和 田	和 美	公財) ヘルスサイエンスセンター島根
米 山	美 幸	医療法人社団岡倉会高鳥クリニック
岩 間	修 平	雲南市立病院
土 江	知 代	雲南市立病院

(敬称略)

会 員 状 況 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

会 員 総 数	452 名
新(再)入会員	20 名
転 入 会 員	7 名
転 出 会 員	16 名
退 会 会 員	15 名
賛 助 会 員	45 社

会員異動状況

届出内容	氏名	勤務先:施設名称
新入会	小松 文香	島根大学医学部附属病院
新入会	尾島 優志	島根大学医学部附属病院
新入会	吉川 由紀	島根県環境保健公社 出雲出張所
新入会	別府 凌成	NHO 浜田医療センター
新入会	菅野 実優	医療法人沖縄徳洲会 出雲徳洲会病院
新入会	成相 陽香	島根県立中央病院
新入会	永島 夏央莉	安来市立病院
新入会	渡部 遥	島根県環境保健公社 浜田支所
新入会	岡 祐希	NHO 浜田医療センター
新入会	石原 慧太郎	島根県立中央病院メディエンス検査室
新入会	福田 里沙	雲南市立病院
新入会	梶谷 凌也	松江赤十字病院
新入会	小林 晏珠	並河内科クリニック
新入会	日野 伽奈	島根県環境保健公社
新入会	槇野 光葵	出雲市立総合医療センター
新入会	檜木 玲奈	島根県環境保健公社
新入会	杉浦 竜太	島根県立中央病院メディエンス検査室
再入会	鈴木 賢一郎	島根県立中央病院メディエンス検査室
再入会	米山 美幸	医療法人社団岡倉会 高鳥クリニック
再入会	湯原 ちはる	医療法人社団岡倉会 高鳥クリニック
転入(山口県より)	吉岡 貴裕	株)日本医学臨床検査研究所中国 浜田支所
転入(山口県より)	荻 真弓	NHO 浜田医療センター
転入(広島県より)	山下 大貴	NHO 浜田医療センター
転入(高知県より)	松本 学	NHO 松江医療センター
転入(岡山県より)	小山 卓也	松江市立病院 検査部
転入(高知県より)	南島 清孝	松江市医師会付属臨床検査センター
転入(大阪府より)	越峠 夏菜	島根大学医学部附属病院

届出内容	氏名	勤務先:施設名称
退会	河野 美和	自宅会員
退会	三島 和子	ひかわ医療生活協同組合 斐川生協病院
退会	福田 順三	やすぎはく愛クリニック
退会	石田 賢一	益田赤十字病院
退会	角田 健治	自宅会員
退会	伊達 英子	松江赤十字病院
退会	渡部 麻里子	自宅会員
退会	角森 正信	島根県立中央病院
退会	原 良子	医療法人陶朋会平成記念病院
退会	細田 悦子	安来市立病院
退会	新田 るみ子	安来市立病院
退会	佐嶋 ルミ	自宅会員
退会	阿部 美奈	島根県済生会江津総合病院
退会	北村 拓也	安来市立病院
退会	三神 萌	社会医療法人昌林会 安来第一病院
転出	森川 祥史	NHO 浜田医療センター
転出	西村 俊直	NHO 松江医療センター
転出	五歩池 加奈	NHO 浜田医療センター
転出	中川 聡	島根県立中央病院 メディエンス検査室
転出	平川 英治	BML 松江
転出	西村 美月	NHO 松江医療センター
転出	東田 真和	松江市医師会臨床検査センター
転出	吉田 知夏	NHO 浜田医療センター
転出	谷口 菜々子	自宅会員
転出	岸本 篤人	NHO 松江医療センター
転出	山田 正隼	松江医師会臨床検査センター
転出	狩野 ひかり	ヘルスサイエンスセンター島根
転出	浅井 瑠子	NHO 浜田医療センター
転出	竹部 早央里	安来第一病院
転出	服部 結子	島根大学医学部附属病院
転出	土井 七海	自宅会員

令和2年度 賛助会員

シスメックス株式会社 広島支店
デンカ生研株式会社 広島営業所
ニッポーボーメディカル株式会社 広島オフィス
シーメンズヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
アークレイマーケティング株式会社 広島セールスアンドサービスオフィス
フクダ電子岡山販売株式会社 出雲営業所
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 広島支店
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
ラジオメーター株式会社 広島営業所
栄研化学株式会社 中四国営業部
株式会社アキメディ
株式会社エスアールエル 松江営業拠点
株式会社カイノス
株式会社宮田薬品
株式会社 LSI メディエンス 松江営業所
株式会社日立ハイテクノロジーズ関西支店
株式会社アイディエス 広島事務所
極東製薬工業株式会社 中四国営業所
ティーエスアルフレッサ株式会社
積水メディカル株式会社 中国営業所
日水製薬株式会社
富士レビオ株式会社 中四国支店
武藤化学株式会社 大阪営業所
株式会社エイアンドティー
富士フィルム和光純薬株式会社 中国営業所
チェスト株式会社 広島営業所
ベックマン・コールター株式会社
アボットジャパン株式会社 広島支店
小西医療器株式会社 松江営業所
関東化学株式会社 大阪支店ライフサイエンス部
株式会社 ビー・エム・エル 松江営業所
メディカルシステム株式会社
東ソー株式会社 大阪支店
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
株式会社テクノメディカ 広島営業所
有限会社友田大洋堂
日立化成ダイアグノスティックス・システムズ株式会社
ノバ・バイオメディカル株式会社 大阪営業所
シスメックス CAN 株式会社 大阪支店
株式会社福山臨床検査センター 米子支所
株式会社シノテスト 広島支店
株式会社エバルス
バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 診断薬営業部
日本電子株式会社 広島支店
ビオメリュー・ジャパン株式会社 中四国営業所

以上 45 社 (順不同)

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
令和 2 年度 定期総会議案書

令和 2 年 5 月 22 日 発行

発行者 三島 清司

発行所 一般社団法人 島根県臨床検査技師会

〒 690 - 0825 島根県松江市学園 2 丁目 23-15
キャステロット 102 号

TEL (0852) 20-2922 FAX (0852) 20-2933

E-mail : shimane-amt@sanmedia.or.jp

URL : <https://shimane-amt.org/>

編 集 三島清司、荒木 剛、藤原 圭子